



鳥取県看護協会だより

こすもす



第188号

2024年8月発行

会員数 4,156名

保健師 100名

助産師 207名

看護師 3,810名

准看護師 39名

(令和6年8月15日現在)

公益社団法人鳥取県看護協会

〒680-0901鳥取市江津318-1 TEL 0857-29-8100 FAX 0857-29-8102

E-mail: kango@tottori-kangokyokai.or.jp 【発行責任者】松本美智子

鳥取県看護協会

検索

<https://www.tottori-kangokyokai.or.jp/>



ホームページ新着に
「こすもす188号」を
9月末掲載します！

看護フェア 2024

「看護の日・看護週間」事業



広報委員会より、
協会誌「こすもす」のアンケートです。
みなさんのご意見をお聞かせください。



CONTENTS

令和6年度通常総会	P 2
会長ごあいさつ	P 3
令和6年度新体制役員紹介・委員会紹介	P 4～7
第1回 人材育成の場での地域・在宅看護論の学習について／ スペシャリストにきく	P 8
鳥取県立厚生病院施設紹介	P 9
看護フェア2024開催報告	P 10
認定看護管理者ファーストレベル教育課程を受講して／ プラチナナース	P 11
令和6年度 役員選挙開票結果／理事会報告	P 12
鳥取県ナースセンター便り	P 13
協会からのお知らせ／新刊図書／編集後記	P 14

令和6年度

通常総会開催報告



令和6年度鳥取県看護協会通常総会を6月16日（日）に看護研修センターにて開催しました。
出席会員数87名、委任状提出者7名、書面表決書提出者3,170名、計3,264名が出席とみなされ総会が進められました。

第1号議案：入会金・運営事業費の見直しについて、第2号議案：令和5年度収支決算及び監査報告の承認について、第3号議案：令和6年度鳥取県看護協会役員の選出並びに令和7年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員の選出についてすべての議案が承認されました。

表彰



谷口 祐子（智頭病院）

功績

協会委員会委員を歴任し、ワーク・ライフ・バランスや地域包括ケアなど重点事業の推進役として尽力した。



田中 幸世（鳥取県立中央病院） 坂本 裕子（個人会員）

功績

永きにわたり協会委員会の委員として協会の運営・事業推進に貢献した。

会長ごあいさつ

会長 松本 美智子



平素より 会員の皆さまには、本会事業につきましてご理解とご支援・ご協力を賜りまして感謝申し上げます。

令和6年度鳥取県看護協会通常総会を6月16日に、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、5年ぶりに入場制限をなくして開催することができました。そして、令和6年度役員改選では、11名の候補者全員が選任され、その後の臨時理事会の承認を経て、新体制でのスタートを切りました。旧役員の皆様には、長期化した新型コロナウイルス感染症の中で、本会の運営に多大なるご尽力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

さて、今年度の決議事項第1～3号議案はすべて可決されました。第1号議案では、入会金・運営事業費の見直しについてご審議いただきました。看護協会会員数の減少は、全国で同様の現象が起きておりますが、本会におきましては令和4年度から減少に転じ、それに先立つこと令和2年度から新規会員数が減少しております。社会経済福祉委員会の調査によりますと、入会しない理由の第1位は「入会金が高い」でした。入会金・運営事業費を減額し入会時の負担軽減を図りたいところではありますが、本会の経営状況では、入会金・運営事業費を減額することは困難であることや現会員との公平性を配慮し、入会金と運営事業費の合計金額を変更することなく、令和7年度新規入会者から、各々の納入額及び納入方法について見直しを行うものです。この機会により一層の入会促進を図り、変更による効果が出るよう取り組んでまいります。

次に、令和6年度の重点政策・重点事業は、令和4年度、5年度の重点政策・重点事業を踏襲し「1. 健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築」「2. 看護職の働き方改革の推進」「3. 少子高齢社会に対応する看護職の人材育成と専門性の発揮」「4. 地域の健康危機管理体制の整備」「5. 公益社団法人としての組織強化と確立」といたしました。

昨年度30年ぶりに改定されました「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」においては、看護職の働き方と処遇の改善の必要性、生涯にわたる自己研鑽への支援、タスク・シフト/シェアの推進、看護管理者の資質の向上、看護補助者の確保、新興感染症や災害等への対応に係る看護師等の確保など、私たちが今後取り組むべき方向性が明記されました。本会といたしましては、今年度のトリプル報酬改定を原資としたすべての看護職の賃金の引き上げやタスク・シフト/シェアの推進、多様な働き方の実現などに向けて取り組むとともに、全世代型地域包括ケアシステムや地域共生社会の推進に向けて、地域課題を踏まえた看護職同士の連携の強化を目指してまいります。

また、生産労働人口が減少していく今後において、看護人材確保は、ますますその厳しさを増し、看護職員養成校の閉校や入学者の減少も顕在化してきております。この対策の一つとしてナースセンター事業の強化を図っていきたいと考えております。さらに、今年は元旦における能登半島地震、7月末の東北地方の豪雨、8月の宮城県沖の地震や東日本への台風の襲来など自然災害が相次いで発生しておりますが、今年度から施行された改定医療法に基づく災害支援ナースの養成研修を実施し、鳥取県と連携して派遣体制の整備にも努めてまいります。

多様化する社会のニーズに対応するためには、看護に求められる役割、活動する場は広がるばかりであり、看護の質・量の両面から課題解決に取り組んでいく必要があります。本会は、関係機関との連携・協働を図り、会員一人ひとりの声を大切にして、職能団体としての役割を果たしてまいりますので、今後とも会員の皆様のご理解、ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

役員のご紹介

令和6年度通常総会において、新役員が選出されました。

新体制で一丸となって事業を推進いたします。

みなさま、ご協力のほどよろしくお願い致します。



副会長 理事

上田 尚子 (再任)

鳥取生協病院

看護を取り巻く環境、社会情勢は刻々と変化しています。少子高齢化が加速し、看護人材確保はますます厳しくなる中、看護の質は一層求められています。看護協会の使命である「人間としての尊厳の維持、その人らしい健康な生活」を支援することは看護の質そのものだと思います。このことに貢献し、重点事業が推進できるよう会長の補佐役として、副会長の役割を果たしてまいります。



副会長 理事

徳田 順子

鳥取赤十字病院

看護協会は鳥取県の看護職員が一体となることができる組織です。人口減少や少子高齢化が進む中、看護職一人ひとりが元気で働き続けられ、「県民のその人らしい健康な生活に貢献する」ということが協会の使命です。その使命が推進できるよう、会長を補佐し副会長としての職責を果たしていきたいと思います。



専務 理事

植木 芳美 (再任)

鳥取県看護協会

少子高齢化社会の進展に伴い、ますます多様化する健康課題や新興感染症、大規模災害等の対応も含め、平時から人々の健康・いのちと生活を守るためには、住民の身近な地域において「面」で支える看護提供体制を推進していく必要があります。重点政策の「健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築」において、今年度は、特に、看護職同士のより一層の連携強化を目指して取り組んでまいります。

また、全ての看護職の処遇改善他勤務環境の改善に向けて、現場の現状と課題や改善に向けたご意見・ご要望等をいただき、関係者の皆さまとの連携・協働を更に深化させながら、それらの改善に向け尽力してまいります。



常任 理事

長谷川 ゆかり (再任)

鳥取県看護協会

令和5年度は「看護師等の確保を推進するための措置に関する基本的な指針」の30年ぶりの改正や、看護職一人ひとりの生涯学習の羅針盤となる「看護職の生涯学習ガイドライン」の策定、看護職の処遇改善など、看護職にとって大きな動きがありました。2040年を見据え、看護職一人一人が資質の向上を図りながら、よりよい労働環境のもとで看護が提供できるよう、これらを推進すべく頑張っております。



常任 理事

谷口 玲子

鳥取県看護協会

人口減少・超高齢化が更に進む中、2040年を見据えて地域包括ケアや他職種連携の推進、災害対応など、看護職に期待される役割は大きく変化しています。看護職一人ひとりが元気で、やりがい感を持ち自分にできる看護実践が継続して行えるよう、重点政策・重点事業の実現に向けて他機関と協働して取り込んでまいります。

また、今年度は人材確保・定着に向けて更なるナースセンターの体制強化が必要となります。懸命に尽力してまいります。



保健師職能 理事

川上 美都江

米子市福祉保健部

今年は、保健師の人材育成と児童虐待予防につながる支援を中心に、他団体と連携強化しネットワークを広げて事業を進めていきます。また、2040年問題を見据えた、少子高齢化社会に対応する全世代型地域包括ケアシステム推進に向け、看護職同士の連携を強化しながら、保健師職能としての役割を果たすことができるよう取り組んでまいります。



助産師職能 理事

大谷 多賀子 (再任)

鳥取大学医学部保健学科

地域内の多機関で助産師が生き生きと活動するための4つの機能「院内助産・助産師外来」「産科区域特定」「産後ケア事業」「地域連携」を地域内で推進できるよう意見集約と課題発見を主な活動として取り組んでいきます。また、兼業・副業を含む多様な働き方についても情報共有し、助産師が医療機関内に留まらず地域も含めた幅広い助産ケアが提供できるよう信頼される助産師を目指し尽力してまいります。



看護師職能(病院領域) I 理事

森田 理恵 (再任)

鳥取大学医学部附属病院

2040年にむけて労働力人口が減少する中で、地域の医療提供体制を支えていくために、病院看護職が働き続けられる勤務環境の構築及び推進にむけての支援、そして、地域包括ケア推進に向けた病院看護職の役割発揮の支援、専門性を高める生涯学習支援の推進を中心に事業を進めてまいります。また、処遇改善や病院看護職の多様な働き方、病院におけるタスクシフト/シェア推進などに関する情報収集や意見集約も行います。



看護師職能(介護・福祉関係施設・在宅等領域)Ⅱ 理事

三嶋 広恵 (新任)

藤井政雄記念病院

地域包括ケアシステムの要である介護・福祉施設・在宅領域の看護師が、生き生きと働き続けられる職場環境構築に向けて、情報共有や意見集約をしながら活動を進めてまいります。病院以外の場で就業していても、継続的に学び、地域のニーズに沿った良質な看護が提供できるよう、必要とされる研修や交流会の企画運営を行います。



東部地区 理事

田中 幸世 (再任)

鳥取県立中央病院

今年度の重点事業方針に基づき東部地区理事、まちの保健室の活動・役割を果たしていきたいと思ひます。地域住民に看護職の活動を理解していただくとともに、健康、福祉などのニーズを把握しながらイベント参加、郵便局拠点活動につなげていきます。また、地区交流会では多くの会員の皆様が参加しリフレッシュできる企画、新たな交流やつながりが持てる運営を行ってきたいと思ひます。



東部地区 理事

渋谷 さおり (新任)

鳥取県立鳥取看護専門学校

看護協会の重点政策・重点事業や委員会の活動について学びながら、地区理事の役割を果たせるよう努力します。地区活動委員会では、会員同士の交流をとおして看護職間の繋がりを広げ、地域住民の方が看護に親しむことのできる活動に取り組みます。看護研究学会委員会では、会員の皆様が看護研究に挑戦し、論文の発表の機会が得られることを目指して看護研究に関する研修会や学会を企画・運営していきまひす。



中部地区 理事

穂山 八重子 (再任)

垣田病院

中部圏域での地域の皆さんに、看護の役割を伝え、今後の医療を担っていただける人材確保が推進できるよう、委員の皆様と取り組みます。医療安全委員会の今年度の研修会は「医療における心理的安全性」、交流会は「防ごう！患者誤認」患者誤認防止対策の実践報告会です。安心・安全・良質な医療を受けらる環境を整えるために、務めていきます。



中部地区 理事

竹本 智美

鳥取県立厚生病院

中部地区理事として2年目を迎えました。少子高齢化が加速する中で、地域と療養のための地域包括ケアを支える看護体制の構築を目指し、看護職が多職種と連携し、高い専門性を発揮することが期待されています。地区の看護職の皆さんと情報を交換しネットワークを強化して地域活動に取り組みます。広報委員会でも、重点課題にフォーカスを絞り、各地区の取り組みを情報発信してまいります。



西部地区 理事

山根 真紀 (新任)

西伯病院

看護職の皆さんに広く看護協会のことを知って、利用していただけるように現状の課題に向き合って参ります。また働き続けられる職場環境を目指し、自分たちが業務改善に主体的に取り組めるように情報発信を行います。地区理事として西部圏域の看護職の皆さんとの交流を深め、看護職として地域の皆さんに貢献できるよう、横のつながりを大切にしたい地区活動に取り組んでいきたいと思ひます。



西部地区 理事

大林 幸恵 (新任)

山陰労災病院

少子高齢社会の中、健康増進や疾病の重症化予防など地域の人々の健康と療養を支える活動や安心して子どもを産み育てられる地域作りについて西部地区の皆様と考へ取り組んでまいります。また、委員会活動では、看護管理者として質の高い組織的看護サービスを創造できる人材育成の企画運営を行っていきまひす。それぞれの活動を通し、現状把握や課題の抽出を行い会員や看護職の声を提言できるように努めます。



全区 理事

山本 健一

尾崎病院

看護協会の重点政策・重点事業に基づき全区理事としての役割を果たしていきたいと思ひます。災害看護委員会では災害支援ナース登録推進と昨年より新しくなっただ害支援ナース養成研修の円滑な研修運営に努めていきたいと思ひます。



監事

間庭 弘美 (再任)

鳥取市立病院

監事として2期目を迎えました。令和6年度は看護職の質の向上、労働環境の改善、健康及び福祉の増進、看護業務の拡大・制度改善などたくさんの事業が計画されております。鳥取県看護協会の運営に対し、理事会に参画し、事業の把握、理事の職務執行の監査、業務及び財産状況の監査、各計算書類及び事業報告書を監査し、監事の役割を果たすよう努力していきまひす。



監事

谷口 祐子

智頭病院

年々会員数が減少している中、この度の総会で、入会金・年会費の見直し案が可決されました。又この度診療報酬等のトリプル改訂が行われました。コロナ禍を経て、協会では多様な課題解決に向け、職能団体としての役割を果たすため、沢山の事業が展開されています。その運営に関して理事会に参画し、理事の職務執行の把握、業務監査・会計監査を適切に行い、監査報告を含め、監事としての役割が果たせるよう努力いたします。

令和6年度 委員会紹介

令和6年7月10日に、合同委員会を開催しました。

1年間、皆様のご協力のもと鳥取県看護協会の事業を推進し、
公益社団法人としての役割を果たす委員会活動となりますようお願いいたします。

●担当理事

●委員長

職能委員会

保健師職能委員会

●川上美都江 山村 裕子 松浦 治代 木村 満代
藤原 加奈 河本千鶴栄 酒井 順子

県内の保健師が所属、組織を超えてつながり、連携強化に取り組んでまいります。また、他の看護職能委員との協働で全世代型地域包括ケアの推進に向けて、保健師の役割を発揮できるよう活動を進めていきます。



助産師職能委員会

●大谷多賀子 岡野 正恵
小寺 理恵 遠藤 明美
岩田 美砂 山岡 裕子
垣内 遥 作野 友香

今年度は、2名の新委員さんを含め活動してまいります。保健師職能委員会・県助産師会と連携強化し、医療に携わる職種間ネットワークを更に進めていきます。



看護師職能委員会 I

●森田 理恵 田淵 裕子
野儀由紀子 宮脇 正美
中島麻希子 持田 聖子
杉岡 智子 岸田 容子

今年度は、地域につながる看護のさらなる実践に向けた病院看護職としての役割認識、やりがいを持ち働き続けられる職場づくりの理解について重点的に取り組んでまいります。



看護師職能委員会 II

●三嶋 広恵 酒本さおり
山田亜砂美 山本 珠美
久本 雪子 田中 洋美
野田 千里

限りある人材で、日々奮闘する仲間たちが楽しく、生き生きと働き続けられるよう、現場の声を集約しながら活動を進めてまいります。



常任委員会

社会経済福祉委員会

●山根 真紀 ●桑本 亨 垣田 真弓 西垣 和美
川口真由美 拝藤 真美 畑中 希美

新メンバーと力を合わせて協会会員増加に向けた取り組みを重点に活動していきます。昨年同様リフレッシュを目的としたヨガ研修を計画していますので気軽にご参加下さい。



医療安全委員会

●穠山八重子 ●藤原 裕美 林 幸希
眞鍋 聡子 谷田 勝美 川本 照子

今年度は「心理的安全性」をテーマに研修会を開催し、交流会では患者誤認防止対策について各施設の取り組みを情報共有できる機会としました。是非ご参加ください。



教育委員会

●長谷川ゆかり ●藤原 綾 上野 文靖 石田 恵子
坂田 和美 永見 悠 谷岡 智子 野口 幸子
遠藤 朋子 松本 絵理 庄川久美子 濱崎葉留美

看護者に必要な知識・技術の維持向上と看護実践現場の指導者育成支援、個々の実践能力に合わせた専門領域の生涯学習支援のために研修を開催します。ぜひご参加ください。



認定看護管理者教育課程教育運営委員会

●大林 幸恵 ●前田久美子 田中 菊枝 安部 和泉
松本 緑 藤田小矢香 宮脇 映子 村口 孝子
淡路 緑 福永まゆみ 久保田幸子

看護管理はいまや看護実践のあらゆる場面で必要とされています。ファーストレベル、セカンドレベルでは多様な受講環境を整え、体系的な学びができるよう支援しています。



広報委員会

- 竹本 智美
- 山下由起子
- 松本 満耶
- 茗荷 章代
- 池本 勝
- 三浦 純子
- 谷本 玲子
- 松本 友恵

今年度も引き続き協会活動周知参加の呼びかけを行っていきます。機関誌『こすもす』の中で地域と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築について紹介します。



推薦委員会

- 平古場美紀
- 玉川 陽子
- 岡田 三枝
- 深田 里美
- 浅子 理絵

今年度は令和7年度鳥取県看護協会改選役員、令和8年度日本看護協会総会代議員、予備代議員、令和7年度推薦委員を中立・公平な姿勢と立場で選考・推薦を行います。



看護研究学会委員会

- 渋谷さおり
- 角田 紫
- 山根 加絵
- 清水ひとみ
- 中川 康江
- 金山 俊介
- 國本万智子
- 河津 麻樹

今年度は、看護研究遂行のためプロセスに沿って学ぶ研修を企画しました。学会では、看護実践の成果を共有して頂く機会となりますので、是非ご参加をお待ちしております。



災害看護委員会

- 山本 健一
- 生林 裕子
- 東原 有加
- 村口 豊育
- 安田 益恵
- 椿 あかね
- 中村 広大

災害支援ナースの登録推進に向けて、【災害支援ナース養成研修】や災害支援ナースの経験談から学べる【災害看護研修】を企画しています。是非ご参加ください。



選挙管理委員会

- 八和田和子
- 竹本 好子
- 岸本さとみ
- 政田 智子
- 有田 恭子
- 佐伯 彩

今年度も定款細則・選挙規程に則り、委員みなで力を合わせ、公明、公正に選挙運営できるよう取り組みます。



「まちの保健室」委員会

- 田中 幸世
- 影山 佳菜
- 野島 千恵
- 近藤 仁子
- 福田 愛莉
- 松本 弘美
- 宮田 麗

「まちの保健室」を通して地域の皆様の健康づくりへの関心を高める活動に取り組むとともに、認知度向上やボランティア確保への啓発活動の強化を進めていきます。



地区活動委員会

東部地区活動委員会

- 田中 幸世
- 渋谷さおり
- 日裏 安代
- 榎 智子
- 沓野 朋子
- 大畑 正子
- 松川真由美
- 田中 千恵
- 坂本智恵美

地区の看護職の親睦を深める企画と、住民の健康意識や看護への関心を高めていただく看護フェアを開催します。



中部地区活動委員会

- 穠山八重子
- 竹本 智美
- 松村 志保
- 石原 弘美
- 永美 知沙
- 山根 裕美
- 柴田 順子
- 石田 直美

地域住民の皆様の健康意識向上と看護への関心が高まる企画を検討し看護フェアを実施します。また、中部圏の看護職が楽しく交流・親睦が図れるよう努めて参ります。



西部地区活動委員会

- 山根 真紀
- 大林 幸恵
- 周藤美紀子
- 大山 博子
- 遠原賀寿恵
- 安田知奈美
- 深田 昭
- 山田 友香
- 西川 厚子

地域住民の健康意識向上と看護職への興味や関心が高まるような活動を企画し開催します。また、西部地区看護職の親睦が深まる交流会の開催に取り組みます。



とっとりかんごちゃん

地域と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築

第 1 回 ～人材育成の場での地域・在宅看護論の学習について～

広報委員 三浦 純子 / 鳥取市医療看護専門学校

現在進展する高齢化社会の中、地域包括ケアシステムを基盤に病院から暮らしの場に生活を重視した地域完結型の医療へと在宅ケアが推進されています。令和4年度から看護基礎教育カリキュラム改正で「在宅看護論」が「地域・在宅看護論」へと名称が変更されました。また時間数も単位数も増えています。今後看護職は人々の生活を支える看護に特化した視点を中心に予防から医療ケア、療養生活支援に至るまでの看護サービスを提供すると共に、地域ケアシステムの一員として、多岐にわたる役割が期待されています。本校では自立支援やリスクマネジメントを目的とした地域・在宅看護実践から看護技術を取り上げています。在宅酸素を使用するならば何メートルの酸素チューブが必要なのだろうか？リビングと寝室のどのあたりに酸素用品を置くことがベストなのだろうか？浴室での対応の仕方なども事例を使用した授業展開をしています。



社会生活を視点とした個人・家族・集団の機能や変化について基本的な理解を問うこととして健康支援と社会保障制度がとても大切です。社会保障制度は年金、医療、福祉と制度別に分かれ、医療、福祉などのサービスは、相互に連携することなくばらばらに行われることが、かつてはありました。しかし、各サービスを担う専門職の側が一方的に守備範囲と内容を決めるだけではなく、1人の人間というトータルな存在である利用者様のために、それぞれの専門職が連携し、その利用者様を中心とした医療が地域でされていくような枠組みに近づけるよう思考錯誤の日々です。また、地域・在宅看護学と健康支援と社会保障制度はきっても切れない関係です。健康支援と社会保障制度では、社会の動向を反映した社会保険、社会福祉、公衆衛生、関係法規から毎年国家試験にも出題されます。科目別正答率では点の取りにくい分野です。そして、暗記の多い科目で学生達は必死に頻出される医療福祉制度・医療法・高齢社会における介護サービスを覚えあっています。国家試験の対策として、過去問題では、選択肢だったのに次は形を変えて問題文として出題されたり選択肢内の単語が2つ該当するものだったりと変化し出題されるので多方面から答えられるように授業の展開に繋がっています。

スペシャリストにきく

～認定看護師の取り組み～

鳥取県立中央病院 感染管理認定看護師 入江 眞里

感染対策の基本として、全ての施設が行っている「手指衛生」の取り組みについて報告します。当院では世界保健機構（WHO）が提唱する手指衛生多角的戦略を参考に、「測定評価」と「組織文化」へのアプローチを行いました。まずは、部署全体の手指消毒剤の払い出し量による評価ではなく、個々の手指消毒剤使用量調査を行い、3ヵ月毎にグラフ化してフィードバックを行いました。視覚的効果を狙い上位3名に「大変よくできました」の金色のシールと、病棟平均を超えたスタッフには「はなまる」シールを貼付したことで、モチベーションの向上に繋がりました。また、手指消毒剤使用量の病棟間競争を行い「院長表彰と記念品」のインセンティブを付けることで、士気を上げることに繋がりました。

単一・単発の取り組みでは手指衛生を行う風土は根つきませんが、上記のような取り組みを繰り返すことで、風土が根つきつつあると思います。



ICTラウンドにおけるアルコール手指消毒剤の使用期限チェック中



個人別アルコール手指消毒剤使用量調査結果のフィードバック用グラフの一部を拡大



『BABY インスタグラム』
赤ちゃんの誕生をみんなに祝福して
もらいたいという思いで、インスタ
グラムを始めました

小椋看護局長

施設紹介

鳥取県立 厚生病院

住所／〒682-0804 鳥取県倉吉市東昭和町150 TEL／0858-22-8181

施設の概要 (R6.7.1時点)

病 床 数：304床
看護職員数：327人
看護体制：
一般病棟 7：1
固定チームナーシング

鳥取県立厚生病院は、県の真ん中にあるこぢんまりと、ちょ
うどいい大きさの病院です。職員同士の顔が見える、声の届く
距離で、多職種間のコミュニケーションも良好です。

私たちは患者・家族の心に寄り添い、意思決定を支える看護
を提供することを目標に、患者・家族の想いをよく聴き、ベッ
ドサイドでの丁寧なケアの実践に努めています。また安心して
在宅療養ができるよう、病棟・外来看護師と多職種での退院前
訪問・退院後訪問を積極的に実施しています。

今年度は看護の質向上と職員のライフの充実に向け、IT化の
推進とセル看護提供方式をもとにした独自の看護提供体制への
見直しに取り組んでいます。それぞれの部署の強みを活かし、
自分たちの目指す看護を見つけ、その実践に向けて取り組む意
欲を大切にしたいと思います。また“看護職員が生き活きと楽
しく働いてこそ、良い看護が提供できる”という思いから、お
互いを認め合い、チーム力を高め、元気に働き続けられる職場
環境作りを推進しています。当院ではナースエイド、看護師長
アシスタント、外来クラークなど、多くの看護補助者と共に看
護をしています。看護職員が、お互いに感謝の気持ちを伝えな
がら協働し、温かい看護を届けていきたいと思っています。



今年4月に
ユニフォームを
更新しました
色の組み合わせ
自由です！



『しっかり助産育て隊』
今年度から助産学実習の
受入れ枠を広げました
助産育て隊に熟が入ります



『院内BABA抜き選手権』
仕事終わりに全職員大集合！
部署対抗戦で盛り上がりしました



『主任の目標管理』
私たち5階病棟の取り組みが
雑誌に掲載されました
(ナーシングビジネス7月号)



『みんなのイイところ見つけ隊』
お互いのイイところや感謝の気持ちを
文字にして伝え合う取り組み
各部署が様々な方法で実施中です



看護フェア2024 開催報告



看護の日

看護の心をみんなの心に

東部地区活動委員会

5月18日(土) 10:00~12:00

サンマート湖山店

参加人数 75名 (アンケート回答者数)

内 容

- ・医療機器等体験
(パルスオキシメーター・血圧計
測定・妊婦体験・赤ちゃん人形
抱っこ体験)
- ・看護職の進路・就業相談
- ・在宅療養・介護相談
- ・まちの保健室
(骨健康度測定・血管年齢)
- ・パネル展示
(乳がん触診モデル、健康・介護
予防関連)
- ・かんとちゃんとのふれあい・
記念撮影

買い物に訪れた多数のお客様が看護体験や血管年齢・骨密度測定等を通して健康相談を受けたり、かんとちゃんと記念撮影を行いふれあうことで、皆で楽しい時間を過ごすことができました。参加者からは「看護協会の活動を知ることができた」「健康のため生活習慣を見直したい」「子供の進路相談ができて良かった」「来年も楽しみにしています」などの声が聞かれました。また、「健康づくり講演会などをしてほしい」といった意見もありました。今後も、地

域住民の方々とのふれあいの機会を通して、地域での安心な暮らしを支えるための啓発活動の推進と看護職への関心を深めていただけるように活動していきたいと思っています。



中部地区活動委員会

4月28日(日) 10:00~12:00

エースバック未来中心

参加人数 83名 (アンケート回答者数)

内 容

- ・医療機器等体験
(パルスオキシメーター・聴診器
体験・妊婦体験・赤ちゃん人形
抱っこ体験・血管イラスト手袋)
- ・看護職の進路・就業相談
- ・在宅療養・介護相談
- ・まちの保健室
(骨健康度測定・血管年齢)
- ・パネル展示
(乳がん触診モデル、禁煙デー関連)
- ・かんとちゃんとのふれあい・
記念撮影

今年度は、親子世代から高齢者の参加が主でした。まちの保健室による骨密度や血管年齢測定については、「自分の健康を知る良い機会となった」と好評で、毎年楽しみにしているという意見もありました。また、「かんとちゃん」は人気が高く、ふれあいや写真撮影はとても盛況でした。スタッフも手作りのかんとちゃんのお面を付けていたことで来場者の和みとなり、私たちも楽しく嬉しい時間を過ごせました。「看護

の日を知るきっかけになった」「毎年続けて欲しい」との意見もあり、今後も地域の皆様にとって、看護や自分の健康について関心を深めてもらう良い機会となるよう工夫していきたいと思っています。



西部地区活動委員会

5月12日(日) 14:00~16:00

米子しんまち天満屋

参加人数 83名 (アンケート回答者数)

内 容

- ・医療機器等体験
(パルスオキシメーター・聴診器
体験・心電図モニター・乳がん
触診モデル)
- ・認定看護師(乳がん看護・新生
児集中ケア・摂食嚥下障害看護)
による活動紹介・相談
- ・看護職の進路・就業相談
- ・在宅療養・介護相談
- ・まちの保健室
(骨健康度測定・血管年齢)
- ・かんとちゃんとのふれあい・
記念撮影

今年も多くの方にご参加いただきました。中でも10代の参加者が全体の21%を占め、看護職を目指している中高生やそのご家族の参加も多く、「迷っていた進路について相談でき進路を考えていくうえでとても参考になった」「認定看護師の話を直接聞いたり、触れ合える機会があって良かった」と喜んでもらえました。健康ブースは例年人で、終了時間まで途切れる事はなく、結果に一喜一憂される様子も見られましたが、来年も開催を期待されるコメントをいただきました。何といたってもこの度の看護フェアで断トツ人気はかんとちゃん、記念撮影を通してかんとちゃんをアピールする機会となり、今後も地域住民の皆様、健康促進や看護職への関心を深めてもらう機会となるよう期待に応えていきたいです。



令和6年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを受講して

開催期間：5月10日～7月26日（19日間） 受講者数：54名

看護小規模多機能型居宅介護真誠会 ふる里 足立 真由美

私は現在、所属する施設において一人のスタッフとして訪問看護の業務に従事しています。在宅療養を支えるためには看護ケアや技術の習得だけではなく、保健医療福祉等、多岐にわたる知識を深めることが必要と考え受講しました。

医療や看護を取り巻く情勢や社会福祉、社会保障制度などについて様々な学びを得ました。また、多様な現場でご活躍されている講師の皆様のパワフルな言葉から刺激や感銘を受けました。苦手意識の高かったレポート課題も、私が現在抱える問題と向き合い、これから取り組む課題を明確化する好機となりました。

ファーストレベルの講義やグループワーク、レポートを含むカリキュラムを通して得た学びや経験を、今後更なる看護の専門性発揮や私自身のキャリアに活かし邁進してまいります。

医療法人十字会 野島病院 川本 大介

私は病棟でチームリーダーを担っている時、役割が十分果たせていないのでは感じていました。今思えば、受講するまでは「何ができていないのか」さえわかっていませんでした。受講する中で強みを活かした問題解決の方法などマネジメントについて学ぶことができました。また、グループワークでは他施設の方、訪問看護、手術室等、様々な現場で働く看護師の方と意見交換ができ、新鮮でよい学びとなりました。

今後、ファーストレベルを受講して学んだことを自施設に持ち帰り、色々な場面で活用していきたいと思います。

最後に、実りある研修ができるよう配慮いただいた講師の皆様、看護協会の皆様、グループワーク等でアドバイスを頂いた全受講生の皆様に心より感謝いたします。



閉講式・大島敏子先生を囲んで

Keep Shining 輝き続ける プラチナナース

鳥取県看護協会
ナーシングデイこすもす
北村 ひとみ

私は、病院に23年勤務後、鳥取県看護協会の訪問看護ステーションに入職し8年を経験し、現在同協会内のナーシングデイこすもすに勤務して4年目を迎えます。

現在勤務している施設では、重度の障がいによる吸引や注入等の医療的ケアの必要な児や者が来所されます。前職の訪問看護で医療的ケア児のかかわりにはありましたが、利用者との言語によるコミュニケーションの難しさや、双方の情報伝達の心配があります。

現在は、利用者の表情や行動から発せられるメッセージを受け止められるようになりましたが、入浴介助、注入等のケアを行う中で、痙攣や発作など突発的な出来事も多く気を抜くことはできません。何か心配なことがあればすぐ保護者に確認し様子を伝えます。また季節ごとのレクリエーションで、介護士、保育士、理学療法士などの多職種で手作りの遊具を使い室内で過ごしたり、外出し風を感じながら散歩したりと和やかな雰囲気の中で勤めています。

今後も困難なことはありますが、多職種で連携し利用者が過ごしやすいデイサービスを目指し、そして自分に何ができるかを考え、プラチナナースの一員として日々奮闘していきたいと思っています。



令和6年度鳥取県看護協会役員 選挙開票結果

令和6年6月16日

役職名	当落	氏 名	得票数 (書面表決)	得票数 (総会投票)	得票総数
副 会 長	当	上田 尚子	3,113	92	3,205
専 務 理 事	当	植木 芳美	3,111	92	3,203
常 任 理 事	当	長谷川ゆかり	3,111	92	3,203
助産師職能理事	当	大谷多賀子	3,111	92	3,203
看護師職能Ⅰ理事	当	森田 理恵	3,113	92	3,205
看護師職能Ⅱ理事	当	三嶋 広恵	3,113	92	3,205
東 部 地 区 理 事	当	渋谷さおり	3,113	92	3,205
中 部 地 区 理 事	当	穠山八重子	3,112	92	3,204
西 部 地 区 理 事	当	山根 真紀	3,116	92	3,208
西 部 地 区 理 事 (残任期間)	当	大林 幸恵	3,110	92	3,202
監 事	当	間庭 弘美	3,114	92	3,206

令和7年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員 選挙開票結果

令和6年6月16日

役職名	当落	氏 名	得票数 (書面表決)	得票数 (総会投票)	得票総数
代 議 員	当	川上美都江	3,113	92	3,205
代 議 員	当	大谷多賀子	3,108	92	3,200
代 議 員	当	森田 理恵	3,107	92	3,199
代 議 員	当	三嶋 広恵	3,102	92	3,194
代 議 員	当	山本 健一	3,107	92	3,199
予備代議員	当	木村 満代	3,102	92	3,194
予備代議員	当	酒井 順子	3,100	92	3,192
予備代議員	当	岩田 美砂	3,100	92	3,192
予備代議員	当	山岡 裕子	3,098	92	3,190
予備代議員	当	杉岡 智子	3,098	92	3,190
予備代議員	当	山田亜砂美	3,098	92	3,190
予備代議員	当	上田 宏美	3,097	92	3,189
予備代議員	当	西川 哲也	3,100	92	3,192

投票総数 3,262 票

理事会報告

第1回 令和6年4月19日(金) 13:00~16:30
場 所 鳥取県看護研修センター・ZOOM

【協議事項】

- 協議1. 基本方針・政策
今回はなし
- 協議2. 事業推進に関する事項
2-1 令和6年度通常総会への提出議案について
議題 第1号議案 入会金及び運営事業費の見直しについて
第2号議案 令和5年度収支決算及び監査報告の承認について
第3号議案 令和6年度鳥取県看護協会役員の選出並びに
令和7年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員の選出について
2-2 委員交代について
2-3 令和6年度委員会委員の承認について
2-4 令和6年度鳥取県看護協会表彰者の決定について
- 協議3. 管理的事項
今回はなし
- 協議4. 人事関係
4-1 組織図・業務分掌表
- 協議5. その他
今回はなし

【報告事項】

- 報告1. 基本方針・政策
1-1 令和6年度重点政策・重点事業並びに事業計画について
- 報告2. 事業推進に関する事項
2-1 日本看護協会理事会報告・法人会報告
今回はなし
2-2 事業報告
1) 業務執行理事報告
2) 各委員会報告
3) 令和5年度重点政策・重点事業の実施状況と評価について
4) 各事業報告
(1) 訪問看護ステーションの大規模化推進のためのワーキングについて
(2) 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応事業について
(3) 令和5年度就職オンラインガイダンスについて
(4) 看護フェア2024の開催について
2-3 その他
1) 2023年度政策力育成のための都道府県協会職員研修
2) 2024年度日本看護協会が都道府県看護協会と協働して実施する研修説明会
3) 2024年度診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定説明会
- 報告3. 管理的事項
3-1 令和5年度会員数最終報告について
3-2 令和5年度後期(10月から3月)長期療養者報告について
- 報告4. 人事関係
今回はなし

報告5. その他

- 5-1 観覧会について
報告6. 書面報告
令和5年度第9回理事会議事録
その他 中部がんカフェオープン記念イベントについて

第2回 令和6年5月22日(水) 13:00~16:00
場 所 鳥取県看護研修センター・ZOOM

【協議事項】

- 協議1. 基本方針・政策
今回はなし
- 協議2. 事業推進に関する事項
2-1 令和6年度通常総会の運営について
2-2 令和5年度決算報告及び監査報告(案)について
2-3 委員会委員の交代について
- 協議3. 管理的事項
3-1 入会金及び運営事業費に関する規程の改正(案)について
- 協議4. 人事関係
今回はなし
- 協議5. その他
今回はなし

【報告事項】

- 報告1. 基本方針・政策
今回はなし
- 報告2. 事業推進に関する事項
2-1 日本看護協会理事会報告・法人会報告
令和6年度第1回理事会
2-2 事業報告
1) 常務理事報告
2) 業務執行理事報告
3) 各委員会報告
4) 各事業報告
(1) 令和6年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル
及び鳥取県看護職員実習指導者養成講習会の応募状況について
(2) 令和6年度災害支援ナース養成研修会について
(3) 中部がんカフェオープン記念イベントの開催について
(4) 看護フェア2024の開催について
2-3 その他
報告3. 管理的事項
3-1 令和6年度会員数報告について
- 報告4. 人事関係
今回はなし
- 報告5. その他
報告6. 書面報告
令和6年度第1回理事会議事録

第3回 令和6年6月16日(日) 13:55~14:05
場 所 鳥取県看護研修センター

【協議事項】

- 第1号議案 副会長の選定(案)について
第2号議案 専務理事の選定(案)について
第3号議案 常任理事の選定(案)について
第4号議案 令和6年度理事の委員会・事業担当(案)について

第4回 令和6年6月16日(日) 14:30~16:30
場 所 鳥取県看護研修センター

【協議事項】

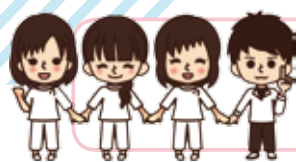
- 協議1. 基本方針・政策
今回はなし
- 協議2. 事業推進に関する事項
今回はなし
- 協議3. 管理的事項
3-1 賃金規程の改正(案)について
3-2 処遇改善手当支給規程の制定(案)について
3-3 会長代行及び副会長代行の優先順位(案)について
- 協議4. 人事関係
4-1 令和6年度鳥取県看護協会役員業務分担の一部改正(案)について
- 協議5. その他
今回はなし

【報告事項】

- 報告1. 基本方針・政策
今回はなし
- 報告2. 事業推進に関する事項
2-1 日本看護協会報告
1) 第2回理事会
2) 通常総会・全国職能別交流集会
2-2 事業報告
1) 業務執行理事報告
2) 各委員会報告
3) 各事業報告
(1) 令和5年度医療的ケア児等支援部事業報告について
①ナースデイこすもす
②鳥取県医療的ケア児等支援センター東部相談窓口
(2) 令和5年度在宅支援部事業報告について
①訪問看護ステーション
②居宅介護支援事業所
(3) 看護管理者向けメーリングリストの運用について
(4) 令和6年度地域包括ケアシステム推進研修会の開催(案)について
(5) 令和6年度鳥取県ナースセンター事業計画について
(6) 合同委員会について
2-3 会議報告
1) DINQL事業に関する都道府県看護協会役員向け説明会
2-4 その他
1) 中部四志会運営協議会について
2) 令和6年度行事予定(日本看護協会・鳥取県看護協会)
- 報告3. 管理的事項
3-1 令和6年度入会員の報告について
3-2 鳥取労働基準監督署からの是正勧告について
- 報告4. 人事関係
4-1 人事異動について
- 報告5. その他
新型コロナウイルス感染症対策に係る鳥取県知事感謝状贈呈式について
- 報告6. 書面報告
6-1 令和5年度第2回理事会議事録

鳥取県 ナースセンター便り

第6号



『鳥取県ナースセンター』は
厚生労働大臣の許可を受けた**看護職のための無料職業紹介所**です。
就業相談や仕事の悩みなどお気軽にご相談ください！

■ 就業相談

相談時間：平日10:00～16:00

相談場所：鳥取県ナースセンター内
(鳥取市江津318-1)

-来所が難しい方はWebでの相談も可能です
-土曜日の相談も月に1回行っております(予約制)

ご相談は看護協会の
会員・非会員を問いません



Web相談お申込み

主な相談内容

- 看護職の就職、転職に関する相談
- 看護職を募集する施設の求人相談
- 進路やキャリアアップに関する相談
- ナースセンター登録に関すること
- 知識・技術研修に関すること

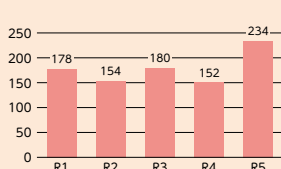


■ 採血練習(予約制)

未就業の方または採血練習を希望される方に個別に対応いたします。土曜相談会、各ハローワーク移動相談会でも対応可能です。お電話にてご予約下さい。

TEL 0800-222-1232

■ 年度ごとの就職者数



鳥取県ナースセンターに登録した求職者のうち、毎年170名以上の方が就職につながっています。
令和5年度は**234名**の方が就職につながりました。

■ 令和6年度 鳥取県内病院 看護職員新規採用者状況

	採用人数
東 部	159名
中 部	48名
西 部	156名
合 計	363名

令和6年度は363名の入職者があり、前年同時期の409名と比べると46名少ない結果でした。

令和4年度より
県内病院の看護職の
新規採用状況を
調査しています

■ 移動就業相談会

仕事探しから仕事上の悩み相談など看護師が対応します。

開催地区	会 場	時 間	開 催 日
東部	ハローワーク鳥取	13:00～16:00	毎月第2月曜 ※8月、10月、2月は第1月曜 1月は第3月曜
中部	ハローワーク倉吉(予約制)	13:00～15:30	毎月第2火曜 ※8月は第1火曜 2月は第2月曜
西部	ハローワーク米子	10:30～12:00 13:00～15:00 (最終受付14:30)	毎月3回開催 ※日程等の詳細はホームページをご覧ください

Information

New

看護補助者の無料職業紹介を開始します

2023年10月に「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の基本指針が改正され、看護師等の無料職業紹介と併せて、看護補助者の無料職業紹介を実施することが重要であると明記されました。鳥取県ナースセンターでも取扱い職種として追加し、ハローワークと連携し協働で、病院等で働く医療チームの一員としての看護補助者の就業支援を開始しました。

※詳細はホームページをご覧ください

資格不要！



New

看護職のためのポータルサイト「NuPS」運用開始予定

日本看護協会では、看護職一人ひとりの資質向上やキャリア構築に役立つツールとして、自分のキャリアに関する情報を一元的に管理・活用できるポータルサイト「NuPS (Nurse Portal Site) : ナップス」の運用を2024年11月より開始予定です。

ナースセンターによる支援として“就労・復職支援”“スキルアップ支援”に役立てるツールとなる予定です。



離職時の届出のお願い

「またいつか働きたい」をサポート！

職場を離職した際に都道府県ナースセンターへの届出をすると、再就職に役立つ情報をご提供します。再就職先が決まっている場合も届出をお願いします。

看護師等の届出サイト

とどけるん



WEBでの届出はこちら！

体験者への
給付型

訪問看護職場体験をしています！

鳥取県ナースセンターでは、訪問看護への就業を希望されている方を対象に職場体験を実施しています。参加希望の方はナースセンター (0800-222-1232) までお問い合わせください。

●訪問看護ステーションの看護師に同行訪問していただきます。

●1日あたり5,000円の給付金を支給します。(最大5日間)

●訪問看護への就業を希望されている方が対象となります。



看護師等無料職業紹介所
鳥取県ナースセンター

E-mail tottori@nurse-center.net

TEL 0800-222-1232



中部圏域にがんカフェ「そよ風カフェ」を開設しました

本協会では、がん向き合う方々が自身の体験や思いを語り合い、悩みや不安を分かち合える場となることを願って、平成30年から県東西部の2カ所でがんカフェを開設し、看護職ボランティアの方々にご協力をいただきながら運営を行っています。

本年度、新たに中部地区にも「がんカフェ」を開設することとし、4月22日(月)にオープニングイベントを開催しました。イベント当日は、会場の「Café ippo (カフェ・イッポ)」に、がん患者・経験者ご本人、そのご家族やご友人など約30名の方にご参加いただき、県内でピアサポート(同じ立場や状況の人による支え合い)の活動に取り組まれるピアサポーター等からメッセージをい

ただいた後、和やかな雰囲気の中で参加者同士の交流が行われました。参加者からは、「中部地区での開催を心待ちにしていた」「すてきな景色を眺めながら、同じ思いを分かち合える場ができてとても嬉しい」などの声が寄せられました。

中部地区がんカフェは、参加者からのご発案で、東郷湖を穏やかに吹き抜けるそよ風のように寄り添い合うことで、心を癒し安らぎのひとつとなることを願って「そよ風カフェ」というステキな愛称ができました。毎月第2・第4月曜日(13:30～15:30)、店舗の定休日に貸し切りで開催しています。参加を希望される方は、本協会へお気軽にお問い合わせください。

そよ風カフェ(中部地区がんカフェ)

開催日時 毎月第2・第4月曜日(祝日を除く)
13:30～15:30

場所 Café ippo (湯梨浜町南谷573)



そよ風カフェ、東部・西部地区がんカフェの開催日は協会ホームページに掲載しています。



第18回

鳥取県看護研究学会

— 経験をつなぎ 切り拓く看護の未来 —

令和6年 11月9日(土) 9:30 受付開始

申し込み: 8月10日(土)～8月31日(土)
※マナブルでお申し込みください

開催方法

ハイブリッド方式

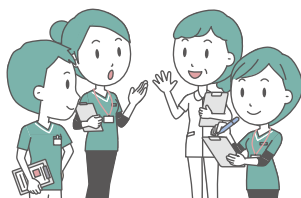
- 鳥取県看護研修センター
- ZOOM

参加費

看護協会会員: 3,000円
非会員: 5,000円
学生: 1,000円

プログラム

10:00～12:10 看護研究発表
13:00～13:40 特定行為修了者実践報告
13:50～15:10 特別講演



特別講演 ZOOMでの講演

テーマ 上手に交渉・調整するための
コミュニケーションスキル

講師 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター 助教 内藤 知佐子



看護士にとって、コミュニケーションスキルは欠かせません。ただ、コミュニケーションの目的は様々あり、情報収集はできるけれど、交渉や調整となると苦手意識をもたれる方も多いのではないのでしょうか? いま現場では、4つの世代がともに働いています。世代によって価値観は異なります。本講演では、各世代別の傾向と特徴、そして世代別の関わり方のコツについて解説します。あなたも少しだけ、交渉・調整上手になってみませんか?

お問合せ先

公益社団法人 鳥取県看護協会 〒680-0901 鳥取市江津318-1
(TEL) (0857) 29-8100
(mail) kensyu@tottori-kangokyo.or.jp

令和6年度

地域包括ケアシステム推進研修会 (三職能合同)

地域へつなぐ看護～まずは看看連携を深化させてみませんか～

日時 令和6年12月14日(土)
13:00～16:00

会場 鳥取県看護研修センター「大研修室」
ハイブリッド開催 (Zoom配信)

対象 看護職及び看護学生

参加費 無料

申込期間

令和6年10月1日(火)～11月30日(土)

13:00 開会

13:10 特別講演 「全世代型地域包括ケアシステムを推進するために～看護職の職能間連携の目指す姿～(仮題)」
講師 公益社団法人日本看護協会 副会長 勝又 浜子 氏

14:30 実践報告
テーマ 地域へつなぐ看護～まずは看看連携を深化させてみませんか～
実践報告者(調整中)
①保健師職能委員会 ②助産師職能委員会
③看護師職能委員会Ⅰ ④看護師職能委員会Ⅱ

16:00 閉会

令和6年度は、引き続き、重点政策「健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の構築」の中で、「全世代型の地域包括ケアシステムの推進」を図ることとしています。

人々の健康と生活を守るために、看護職員一人ひとりが主体的に役割を発揮することができるよう、看護職間連携のより一層の推進を目指し「三職能合同研修会」として開催します。

新刊図書



The 外来看護 第2版
時代のニーズに応え、
専門性を発揮する

編著 数間 恵子
日本看護協会出版会 発行



訪問看護ステーションの
経営管理

著 渡邊 尚之
日本看護協会出版会 発行

編集後記



うだるような暑さが続いています。オリンピックやインターハイを見ると、日々積み上げてきた努力が結果につながっています。看護においても同じだと感じました。日々の努力の積み重ねをしたいと感じます。

(広報委員 山下)